

## 豪州・ペンリス市春ゆめの大自然交流合宿に参加して Aさんの場合

当時中学2年生の彼女は、同合宿に参加するあるリーダーの母親の同級生の長女だった。その縁で\*\*\*\*年9月4日に、初めて相談を受けた。聞くに、中学1年生の6月、ふとしたスポーツ用品の話から友達と気まずい関係になってしまい、学校を休みがちになり、1年生で50日、2年生の1学期で2日欠席し、2学期からは完全に学校に行かなくなってしまうと言う。結婚してなかなか子宝に恵まれず、6年目でやっと授かった彼女。幼い頃は積極的で、友達の中でも常に先頭にいるような子供だったが、成長するにつれ大人しくなり、いい子と言われるようになったと話してくれた。家族構成からその原因は推しはかられた。その4日後（9月8日）に採った彼女のエゴグラムが、CP（父性）2、NP（母性）57、A（知性）98、FC（感性）30、AC（順応性）80だった。非常に周りが自分のことをどう思っているか気になりすぎて気疲れしており（AC）、深く自責の念に囚われすぎて、あれこれと考えあぐねるため、かえって答えが見つからないままにいる（A）。私は母親に初の豪州・ペンリス市の交流合宿参加をお願いした。

翌年1月13日の本交流合宿の実施説明会の時にエゴグラムを採ったが、9月8日のものと基本的に変わらなかった。しかし、3月21日、2回目の参加者交流会に参加した時に採った彼女のエゴグラムに少し変化が見られた。実施説明会后、午前中当フォーラムに来て出席認定を取りながら勉強を始めた。即ち、CP42、NP63、A78、FC38、AC92だった。そのためか、あるいは、本交流合宿の事前の英会話研修や参加者交流会で同世代の仲間達と関わる中で、今自分は何をしなければならぬかの意識が芽生えてきていた。CPの成長がそれを示した。

3月に湾岸戦争が始まり、海外渡航を控える動きのある中、私は当フォーラムの初めての大型海外交流合宿で5人の不登校解消を目論む事業ゆえに、実施を断行した。4月1日、小学2年生から高校3年生まで33名の参加者に、リーダー、スタッフ18名、総勢51名で藤枝市役所を出発。10時間の飛行で翌朝、シドニー空港に到着。ペンリス市の国際友好協会の皆様のご協力で、きれいな海で有名なボンダイビーチでの休憩、ジドニーの象徴・オペラハウス、ハーバーブリッジを見学した。昼食後、ペンリス市役所で歓迎式典に出席した。参加者1人1人にそれぞれのBuddy（ペア）を紹介され、Buddyと一緒に交流合宿が始まった。その日の夕食は、早速Buddyと一緒にバーベキューだった。片言の英語とリーダーの通訳で2時間半ほど会話を楽しんだ。

翌日3日の午前中はBuddyの学校に行き、Buddyと一緒に授業を受け、午後はコアラベアのいるフェザデイル野生動物公園を見学した。夕食は、またBuddyと一緒にピザパーティだった。彼女もみんなすっかりBuddyと打ち解け合っていた。

翌日4日の午前中は参加者だけでブルーマウンテンを見学、午後2時半から2時間、またBuddyと一緒に買い物をした。夕方からはBuddyの家族とも一緒に送別会に参加し、Buddyからたくさんのプレゼントを貰い、ブッシュバンドに合わせて百数十名の大ダンス、予定を

遙かにオーバーした感激のパーティに、彼女もみんな涙した。Buddyとの別れが辛かった。ペンリス市国際友好協会の皆様のやBuddyの学校の皆様、ペンリス市役所の皆様には大変お世話になった。

翌日5日朝、宿舎を出て、帰国に向かった。その時、飛行機の中でエゴグラムを採った。CP3、NP77、A98、FC83、AC42と、見事にFC（やんちゃ性）とAC（いい子ぶりっ子性）が逆転した。もう周りの目を気にすることなく、同世代の仲間達と楽しくも深く関わっていく自信が見受けられ、私は彼女の不登校解消を確信した。

しかし、翌日6日の新学期の朝、「〇〇〇は、やはり（学校に）行けませんでした。」と、力無い母親の声が電話の向こうで聞こえた。翌日の朝も彼女は学校に行かなかった。「絶対に彼女は学校に行きますから、お母さん、そんな顔を見せないで普段通りに待って下さい。」と言う私の声も少し力を失っていた。

ところが、翌8日朝9時、私は藤枝市長に今回の交流合宿のご協力の御礼と合宿の報告に行くため、自宅を出ようとした時電話が鳴った。受話器を取ると、涙ぐんだ母親の声が聞こえた。「先生、ありがとうございます。〇〇〇が、じゃあ行ってくるね、と言って（学校に）行きました。・・・本当に、今まで何も無かったかのように、あっさりと・・・先生、本当にありがとうございます。」私は、正直ホッとした。早速そのことを市長に報告させて頂いた。市長もこの交流合宿の成果に大変驚かれたと共に、今後の更なる活動を希望された。今回の交流合宿で、彼女も含め4名の不登校解消が果たせた。（残り1人は、本コーナーの別の話で書きました通り、2学期に完全な解消を果たした。）

平成21年10月4日